

非核平和富山県宣言

<抜粋>

富山県議会は、ここに、富山県民とともに、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を願い、「非核平和富山県」の宣言を行う。

<議案 提出議員>

千田 稔、坂田 光文、向井 英二、犬島 肇、江西 甚昇、竹内 弘則、
菅沢 裕明、鹿熊 正一、横山 真人、森 雅志、島田 一、坂野 裕一

<全文>

核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは、世界で唯一の被爆国である我が国はもとより、人類共通の願いである。

我が国は、日本国憲法に基づき、「核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませず」の非核3原則を国是としている。

本議会においても、平成7年6月の「核実験反対、核兵器全面禁止・廃絶を求める意見書」、平成8年6月の「中国の核実験に抗議し恒久平和の実現を求める決議」、平成10年6月の「核拡散防止体制の強化と核実験の廃止、核兵器の廃絶を求める意見書」を可決し、繰り返し核兵器の廃絶と平和を願う意思表示をしてきたところである。

しかしながら、今日なお、地球上には核兵器が厳然として存在し、人類を破滅に陥れる核兵器の脅威は依然として続いている。

もとより、世界の平和と繁栄のためには、具体的な行動を積み重ねていくことが重要であり、来るべき21世紀に向かって、より一層国際的な相互理解、相互信頼を確固たるものに構築していくことが必要である。

今後とも、県民の生命と安全の確保のため、一日も早い核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて、一層の努力をしていかねばならない。

富山県議会は、ここに、富山県民とともに、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を願い、「非核平和富山県」の宣言を行う。

平成11年12月20日

「非核富山県宣言」実現早く

非核の政府を求める富山の会と原水爆禁止富山県協議会は本日、「核兵器廃絶」「非核富山県宣言をみんなでつくるシンポジウム」を富山市の安田生命ホールで開催し、約百二十人が参加しました。東山橋治県原水協代表理事が、「『非核富山県宣言』が県民の英知と総意を反映したものになることを願う。大いに期待する」とあいさつしました。

非核県宣言の陳情を繰り返して、賛同者が九月議会以降も増え続けるなか、県議会各会派も二〇〇〇年一月一日からの発効をめざし、十二月定例議会に「宣言」を提案する準備をすすめています。

核兵器なくす運動 草の根から広げて

シンポジウムは、非核の政府を求める富山の会の本澤進・常任世話人の司会ですすみました。福岡町の田中昭夫総務課長は、九一年に議会が「宣言」を決議してからの平和事業のとりくみを紹介。「小さな事業だが、今後も創意工夫をこらして県民に平和を訴えていきたい」と表明しました。高知県原水協の和田忠明事務局長は、非核港湾条例を始め、高知の経過と現状、自治体の役割などについて話し、「非核の港湾、自治体をいづるためにもにがんばろう」と願ひがけました。

物理学者の松本賢一氏は、核兵器の仕組み、解体・管理・保管の課題や展望、プルトニウムの性質などについて説明し、「いかなる大義のもとでも核兵器の使用は絶対に許されない」と強調。富山県原水協の笠間遼夫事務局長は、日本とアメリカとの「核密約」についてのべ、「草の根の運動と世論を世界に広げていくことが核兵器をなくす道だ」と話しました。

フロアからも活発な発言があり、「地方自治は平和を守ろうと大切な機能をもっている」と改めて感じた。非核宣言をあげるためにがんばりたい」との声もありました。

シンボで120人交流



「非核富山県宣言」をみんなでつくるシンポジウム＝6日、富山市
1999.11.6

核兵器のない世界へ

～核兵器禁止条約の実現に向けて～

富山県議会が「非核平和県宣言」を決議してから20年。世界では核兵器廃絶の動きが進み、一昨年には核兵器禁止条約が採択されました。

ところが核保有国や日本は条約に反対の立場を取っています。

このシンポジウムを通じ、富山県議会などに対し、政府に条約批准を求めるよう働きかけていきたいと思います。多くの方の参加をお待ちしています。

<基調講演>

被爆者はなぜ核兵器廃絶を求めるのか

日本原水爆被害者団体協議会

事務局次長 **藤森 俊希** さん



(ふじもりとしき)
1944年、広島市生まれ。1歳で被爆、姉2人と甥を失う。2012年から被団協事務局次長。2017年、ICANのノーベル平和賞授賞式に出席。国連演説で自身の体験を語り、核廃絶を訴える。長野県茅野市在住。

2019年

日時 **11月16日(土)**

開場13:00/開会13:30～閉会16:00

会場 **パレブラン高志会館**
2Fカルチャーホール

司会

山本 美和 (核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会 世話人)

発言者

小島 貴雄 (富山県被爆者協議会 会長)

金井 英子 (核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会 世話人代表)

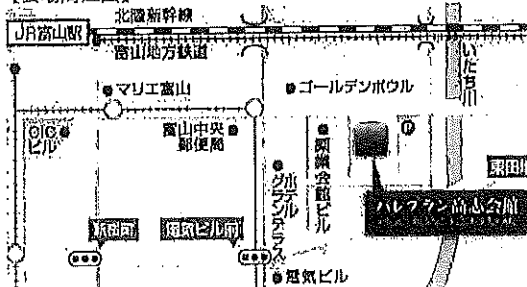
水谷 敏彦 (非核の政府を求める富山の会 代表世話人)

松田 理恵子 (富山県原水協理事・高岡市原水連事務局長)

フロアからの発言

どなたでも参加
いただけます
(資料代500円
いただきます)

【会場周辺図】



主催

非核の政府を求める富山の会、原水爆禁止富山県協議会
富山県被爆者協議会、核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会

【問い合わせ先】 非核の政府を求める富山の会 (富山市堀端町1-12 富山中央法律事務所内 TEL:076-423-2466)

講演会

(リアル講演)

迫りくる核戦争の 危機と私たち

—核抑止論を乗り越えて、
9条を世界に—

と き **11月20日(日)14:30~16:30**

ところ **サンフォルテ307号室**



核兵器は
すみやかに廃棄を
「核兵器禁止条約」に日本こそ参加を

講師

大久保賢一氏

(プロフィール)

東北大学法学部卒業・1979年弁護士登録。
日本反核法律家協会事務局長を経て、現在、会長。
NPO法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継
承する会理事。日本弁護士連合会憲法改正問題
対策本部委員 など。

著書 『迫りくる核戦争の危機と私たち』
(あけび書房 / 11月3日発刊) など



核兵器禁止条約が発効してもうすぐ2年。締約国は68、署名国は91となり、核兵器のない世界に向けた確かな力強い流れがあります。しかし、日本は、唯一の戦争被爆国でありながら、アメリカの“核の傘”に依存し、条約に背を向けています。それどころか、ロシアのウクライナ侵攻や核兵器による威嚇といった国際情勢に乗じて、核共有、軍事費2倍化などが声高に叫ばれています。「核抑止論」によって日本の、そして世界の安全は本当に守られるのか——大久保弁護士の講演に学んで核兵器廃絶の大きな流れに確信を持ち、核禁条約富山の会の活動を前進させたいと思います。

●資料代500円 どなたでも参加できます

主催／日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める富山の会（核禁条約富山の会）

連絡先／富山市下富居1-7-56 富山県労連気付 076-433-5850

崎
国
に

を
!

加
を

県議事堂で核兵器廃絶を訴え



北日本新聞社提供

金本弘被団協代表理事ら 県議対象の研修会で

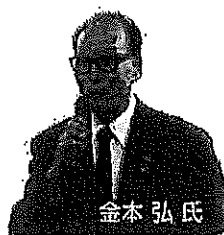
2月27日、2024年にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の金本弘代表理事（愛知県在住）らが、富山県議会議事堂で県議会議員を対象とした研修会で講演し、核兵器廃絶を訴えました。

研修会は、戦後80年に合わせて企画されたもので、被爆者を招いて話を聞くのは初めてのことです。

私も初めての経験（金本氏）

今回の研修会は、日本被団協のノーベル平和賞受賞を受け、県議会として核兵器のない世界の実現について考えようと県議会議長が呼びかけ、議会のすべての会派が賛同して金本さんらを招くことが決まったとのことでした。

金本さんは「議員さんに被爆証言をするのは初めての経験。県知事さんとも面談することができた。研修会のあと、議員さんたちは（議事堂に並べた原爆パネルを）じっと見てくれていた」と感想を述べています。



金本 弘氏



議員研修会を傍聴して

核兵器廃絶をめざす富山医師・医学者の会 世話人代表

金井 英子

2025年2月27日、県議事堂大会議室にて県議会議員の皆さんに被爆者と被爆二世の講話を聴いて頂きました。お話しは、愛知県在住の被爆者金本弘氏、同じく愛知県の被爆二世大村義則氏、富山県在住の被爆二世小島貴雄氏です。

金本氏は、「生後9か月の時に広島県の爆心地から2.5キロの駅で15歳だった姉とともに被爆しました。呼吸が止まって意識を失ったそうですが、父親が私の頭を防火用水に入れ、口からガラスなどを取り出し意識を取り戻しました。」「私が生きてこれたのは、戦争がなかったからです。若い人たちに私

が生きた80年間以上の平和を保障してあげたい。」と話されました。

オス口の観覧車に 折鶴マーク

大村氏はノルウェーのオスロでの授賞式の様子を語られました。「街の観覧車の中心に折り鶴のマークが書かれたキャンバスが飾られていた。ノー



大村義則氏

2025年9月10日

富山県議会

議長 武田 慎一 殿

日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める富山の会

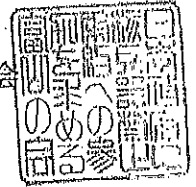
共同代表

小島 貴雄

中山 洋一

水谷 敏彦

富山市下富居1-7-56 電話076-438-5850



「核兵器のない世界」を早期に実現するための請願

紹介議員

鹿熊正一

菅沢裕明

佐藤則寿

火田三子

〔請願の趣旨〕

富山県議会は1999年12月、全会一致で「非核平和富山県宣言」を採択し、そのなかで「一日も早い核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて、一層の努力をしていかなければならない」と内外に宣言されています。

しかし今、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザへの無差別爆撃などにより平和が深刻に脅かされ、核兵器が実際に使用される危険性がかつてなく強まっています。

その一方、被爆の実相と核兵器の非人道性を世界に訴え続けた被爆者の運動などを力に、2017年国連で核兵器禁止条約が採択され、昨年12月には日本原水爆被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞を受賞するなど、「核兵器のない世界」をめざす動きは核保有国・依存国の内外にも大きく広がっています。

こうしたなかで、富山県議会が本年2月に被団協を招いた講演会を開催され、6月には県議会議事堂における県被爆者協議会主催の原爆パネル展を協賛されたことに心から感謝し敬意を表します。

そこで、被爆80年の節目にあたり、「核兵器のない世界」の実現のため、日本政府が、唯一の戦争被爆国として、国際社会においていっそうのイニシアチブを発揮するよう求めていただきたく、請願するものです。

〔請願の内容〕

国会および政府に対し、「核兵器のない世界」の実現に向けて、唯一の戦争被爆国にふさわしいイニシアチブを発揮することを求める内容の意見書を採択していただくこと。

以上

令和7年9月30日

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣 あて

外務大臣

防衛大臣

内閣官房長官

富山県議会議長 武田 慎一

「核兵器のない世界」実現に向けたイニシアチブ発揮を求める意見書

本県議会は1999年12月「非核平和富山県宣言」に関する決議を全会一致で可決し、「一日も早い核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現」に向けて、一層の努力をしていかねばならない」と決意してきた。

しかし今、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、緊迫化する中東情勢などを背景に、核兵器を取り巻く国際情勢はかつてなく厳しいものとなっている。

一方で、被爆の実相と核兵器の非人道性を世界に訴え続けた被爆者の運動などを力に、2017年7月に国連で核兵器禁止条約が採択され、昨年12月には原水爆禁止日本被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞するなど、核兵器禁止をめざす世論と運動は力強く前進している。

被爆80年の今年、本県議会は2月に日本被団協代表を招いた講演会を開催し、6月には議事堂で県被爆者協議会主催の原爆パネル展を開催するなど、被爆の実相について認識を新たにしてきたところである。

よって、国会及び政府におかれては、核兵器不拡散条約検討会議で核軍縮・不拡散が前進する意義ある合意文書が採択されるよう全力で取り組まれるとともに、核兵器禁止条約の締約国会議についてもオブザーバー参加されるなど、唯一の戦争被爆国として「核兵器のない世界」の実現に向けて、一層のイニシアチブを発揮されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

I CAN

International Campaign to Abolish Nuclear Weapons

「核兵器を条約によって禁止するための革新的な努力」が評価される。

2017年 ノーベル平和賞受賞

(核兵器廃絶国際キャンペーン)

ICAN国際運営委員

(リアル)

川崎 哲 さん 講演会

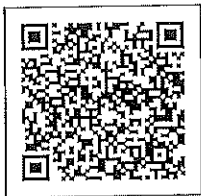
「“抑止力”で戦争は防げない 平和の準備を！」



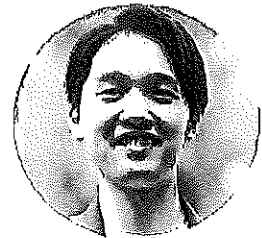
〔川崎哲さんの略歴〕 ICAN国際運営委員、ピースボート共同代表、核兵器をなくす日本キャンペーン・専務理事、日本平和学会理事。著書「核兵器禁止から廃絶へ」(岩波ブックレット)、「僕の仕事は世界を平和にすること」(旬報社)、共編著「戦争ではなく平和の準備を」(地出版社)など。

1968年東京生まれ、東京大学法学部卒業。

YouTube ライブ配信は
こちらです。



〔視聴申込みは不要。
後日配信はありません。〕



オスロ 日本被団協
ノーベル平和賞受賞式
ニューヨーク 第3回
締約国会議
からの報告

核兵器をなくす日本キャンペーン コーディネータ

浅野 英男 さん

若者たち、市民の視点から報告。
2026年TPNW再検討会議へ活動。

2025年 **11月22日(土)**
午後 **1時30分** から

パレブラン

高志会館

カルチャーホール

協力金

500円

日本政府は
核兵器禁止条約
に署名・批准を

戦争被爆80周年記念 川崎哲 講演会実行委員会

連絡先 富山市堀端町1-12 電 076-423-2466

富山中央法律事務所内(水谷)

核兵器禁止条約 Treaty on the Prohibition of Nuclear Weapons